

## 検索ボックス

<< 2025年12月 >>

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 最近の記事

- [\(12/03\)前立腺がんのモニタリングに MRI 単独は信頼できるか？](#)
- [\(12/01\)マイコプラズマ感染症にミノマイシン服用の是非](#)
- [\(11/29\)心房細動アブレーション後の積極的ライフスタイル管理](#)
- [\(11/27\)糖尿病治療薬SGLT2阻害薬の尿路感染症後の中断](#)
- [\(11/25\)慢性咳嗽・UCCにリフノアの効果は？](#)

## 最近のコメント

- [鉄欠乏性貧血における鉄剤の服用 by \(09/13\)](#)
- [23価肺炎球菌ワクチンの局所反応 by \(07/11\)](#)
- [急性心不全のラシックスの効果減弱 by \(06/10\)](#)
- [小児の腸重積・ロタウイルスワクチンとの関係について by \(05/02\)](#)
- [II型糖尿病患者にスルホニル尿素薬の有効性について by \(04/19\)](#)

## タグクラウド

## カテゴリ

- [小児科\(282\)](#)
- [循環器\(346\)](#)
- [消化器・PPI\(199\)](#)
- [感染症・衛生\(339\)](#)
- [糖尿病\(172\)](#)
- [喘息・呼吸器・アレルギー\(141\)](#)
- [インフルエンザ\(124\)](#)
- [肝臓・肝炎\(68\)](#)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導\(59\)](#)
- [脳・神経・精神・睡眠障害\(82\)](#)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症\(48\)](#)
- [ワクチン\(103\)](#)
- [癌関係\(20\)](#)
- [脂質異常\(32\)](#)
- [甲状腺・内分泌\(22\)](#)
- [婦人科\(24\)](#)
- [泌尿器・腎臓・前立腺\(69\)](#)
- [熱中症\(7\)](#)
- [日記\(37\)](#)
- [その他\(112\)](#)

## 過去ログ

- [2025年12月\(2\)](#)
- [2025年11月\(14\)](#)
- [2025年10月\(12\)](#)
- [2025年09月\(15\)](#)
- [2025年08月\(13\)](#)
- [2025年07月\(14\)](#)

<< ACPの糖尿病ガイドランスに早くも反論 | TOP | 前立腺癌の診断に直腸指診は無効？ >>

2018年03月15日

## 原発性シェーグレン症候群

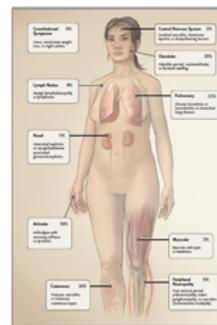
### 原発性シェーグレン症候群

Primary Sjögren's Syndrome  
n engl j med 378;10 nejm.org March 8, 2018



ドライマウスやドライアイは現代病の感じすらあります。しかし、稀ながら重大な疾病が隠れている事もあり注意が必要です。代表的疾患のシェーグレン症候群がNEJMに、総説が症例報告として掲載されていましたので纏めてみました。

- 男女比は1:9、発症のピークは50歳代、主な症状はドライアイ、ドライマウス、関節痛、倦怠感である。80%が上記の症状を全て呈する。そのためQOLの低下や仕事の生産性の低下をもたらす。
- 二次性シェーグレン症候群は関節リュウマチ、膠原病によるものである。
- ドライマウス、ドライアイ、倦怠感、関節痛は他の疾患（線維筋痛症など）でも多く認められるが、疾患の頻度としては原発性シェーグレン症候群は稀である。
- 全身症状は30~40%に出現する。基本的病態は、外分泌腺を越えてリンパ球が浸潤するためである。その結果、間質性腎炎、原発性胆汁性胆管炎（PBC）、閉塞性細気管支炎を起こす。又、Bリンパ球の活性化により免疫複合体の沈着で糸球体腎炎、間質性肺臓炎、末梢性神経炎が起る。SLEの腎炎と異なりシェーグレン症候群は蛋白尿の程度は軽い。

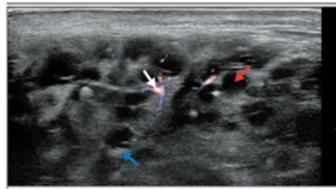


- 動物実験では、ウイルスの刺激により粘膜上皮の活性が起るとされている。
- ドライマウス、ドライアイ、倦怠感、関節痛が診断上重要だが、時に合併症により、シェーグレン症候群の診断に結びつくことがある。
- 抗SSA抗体は2/3に認められる。リウマチ因子は1/2。抗SSA抗体が陰性で、疑いが払拭できない時は唾液腺の生検が必要になる。
- 唾液腺のエコーも有用である。

- [2025年06月](#)(13)
- [2025年05月](#)(15)
- [2025年04月](#)(17)
- [2025年03月](#)(13)
- [2025年02月](#)(14)
- [2025年01月](#)(16)
- [2024年12月](#)(14)
- [2024年11月](#)(12)
- [2024年10月](#)(13)
- [2024年09月](#)(14)
- [2024年08月](#)(12)
- [2024年07月](#)(15)
- [2024年06月](#)(14)
- [2024年05月](#)(14)
- [2024年04月](#)(12)
- [2024年03月](#)(14)
- [2024年02月](#)(13)
- [2024年01月](#)(19)
- [2023年12月](#)(17)
- [2023年11月](#)(13)
- [2023年10月](#)(15)
- [2023年09月](#)(12)
- [2023年08月](#)(16)
- [2023年07月](#)(15)
- [2023年06月](#)(14)
- [2023年05月](#)(15)
- [2023年04月](#)(15)
- [2023年03月](#)(15)
- [2023年02月](#)(14)
- [2023年01月](#)(15)
- [2022年12月](#)(12)
- [2022年11月](#)(16)
- [2022年10月](#)(15)
- [2022年09月](#)(13)
- [2022年08月](#)(17)
- [2022年07月](#)(13)
- [2022年06月](#)(15)
- [2022年05月](#)(15)
- [2022年04月](#)(14)
- [2022年03月](#)(15)
- [2022年02月](#)(14)
- [2022年01月](#)(16)
- [2021年12月](#)(14)
- [2021年11月](#)(17)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)



**Figure 2. Ultrasonography of a Parotid Gland in a Patient with Primary Sjögren's Syndrome.**  
The main ultrasonographic characteristics of the disease are the multiple hypoechoic or anechoic areas (>10 in this scan) (red arrow), hypercholesteric reflections at the border of these anechoic areas (blue arrow), and sometimes hypervascularization (white arrow). All these abnormalities are usually present in the four main salivary (parotid and submandibular) glands. Courtesy of Dr. Gilles Gailly, Hôpitaux Universitaires Paris Sud.

- 9) リュウマチ因子の陽性、補体C4の低下、耳下腺の繰り返す腫脹は、シェーグレン症候群の悪性リンパ腫の併発の予測因子となる。

私見)

繰り返す耳下腺の腫脹、寝汗、倦怠感は実地医家ではありふれた症状です。  
注意深い診察が求められそうです。  
図をPDF化しました。  
関連文献を下記に掲載します。

[シェーグレン症候群.pdf](#)

[NEJMicm1210527.pdf](#)

[EULAR Sjögren's syndrome disease.pdf](#)

0 0  
いいね!

ポスト

【その他の最新記事】

- [『私はとても静かになった』医師が自殺を試..](#)
- [ケアネットより抜粋](#)
- [アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024..](#)
- [医療ネットよりの情報](#)
- [ゆっくり食べて、よく噛むことの重要性](#)

posted by 齋賀一 at 14:10 | [Comment\(0\)](#) | [その他](#)

この記事へのコメント

